



天を造り出し、
これを引き延べ、
地とその産物を押し広め、
その上の民に息を与え、
この上を歩む者に
霊を授けた創造主は
こう仰せられる。
わたし、主は、
義をもってあなたを召し、
あなたの手を握り、
あなたを見守り、
あなたを民の契約とし、
国々の光とする。
イザヤ四十二章5、6節

第二回 聖書 & 科学カンファレンス 2011/08/16-18



ニュースレター巻頭言

ジェネシスジャパン会長 宇佐神 実

力強い信頼は主を恐れることにあり、子たちの避け所となる。 主を恐れることはいのちの泉、死のわなからのがれさせる。 箴言 14:26,27

主の御名を賛美します。8月16日から18日（科学者は19日まで）に国立立山青少年自然の家で開催された第二回聖書 & 科学カンファレンスは、多くの方々の協力により、大盛況のうちに終えることができました。

さまざまな講演の後で、よく耳にしたのは、「この講演を聴いただけでも、

このカンファレンスに来た価値がある。」ということばでした。本当にそのような講演が目白押しとなったカンファレンスでした。いのちありがとうの会、クリエーション・リサーチ・ジャパンほか喜んでご協力いただいた講演者の方々に心から感謝致します。また、私たちスタッフに手の届かないところを進んで手伝って下さった方々

がおられたからこそ、全体がスムーズに進行できたと思います。ご奉仕下さった方々、本当に助かりました。そして多少の不便にも関わらず一つひとつのプログラムを喜んで下さった参加者の方々に心からの感謝を申し上げます。

ジェネシスジャパンでは、来年は4つのイベントを企画しており、その紹介を



させていただきます。

【春】第二回青少年向け創造論セミナー、[開催期日] 2012年3月26～28日、[対象] 中学生～成人、[会場] 軽井沢 SYME、[目的] 一般の学校では進化論とそれに基づく世界観が教えられています。これに対し、創造の事実と聖書に基づく世界観を確立すると同時に、創造を信じる同世代の仲間との交流を通じて励ましあい、よい絆を築きます。

【海外】GJ 創世記探訪ツアー [開催期日] 2012年6月4～9日、[対象] 子供～成人、[訪問先] セントヘレンズ山(ワシントン州)・創造博物館(ケンタッキー州)、[目的] 創造博物館は池上彰の「日本人が知らないアメリカ」でも紹介されましたが、多くの人が創造の証拠を見て証しするのに非常に役立っています。また、1980年に噴火したセ

ントヘレンズ山は、それまでの地質学の常識を覆し、創世記の洪水の時に起きた出来事をまざまざと示してくれます。またスピリット湖畔へのハイキングでは、ノアの洪水による石炭の成因を考えさせてくれる湖面に浮かぶ丸太を見ることができます。



【夏】第三回聖書&科学カンファレンス、[開催期日] 2012年8月15～17日、[対象] 子供～成人、[会場] 硯川ホテル(志賀高原)、[目的] 創造を信じる多くの科学者や牧師の講演を聞く機会

があり、キッズ・中高生・一般・科学者の4つのカンファレンスが平行して行われるので、家族や教会単位で参加できます。また科学者たちと直接交わりをもてるのもこのセミナーの醍醐味です。

【秋】秋のGJ創造セミナー [開催期日] 2012年10月29～31日、[対象] 子供～成人、[会場] ホテルグリーンプラザ白馬(長野県小谷村)、[目的] 秋の北アルプスで自然を満喫しながら創造主の恵みを味わい、感謝を覚える時としたいと思います。特に、いのちありがとうの会会長の堀越暢治師を主講師として招き、私たちが与えられている命のありがたさと主への感謝を学ぶ予定です。

どうぞ、これらの計画のためにお祈りください。また、是非参加いただき、学びと交わりをとおして共に創造主のすばらしさを崇めたいと思います。



第二回聖書&科学カンファレンスの写真より



聖書は全人類に与えられた説明書2

恵みと希望の日々

「恵みの希望」とはどのようなものでしょうか。聖書にこの恵みの全てが示されています。

私は自分自身の罪の刑罰をイエス・キリストが身代わりに受けて下さったと信じ、イエス・キリストこそ自分の罪を解決して下さいとお方だと受け入れた時、真の平安を得ることが出来ました。と同時に、聖書のことばは本当だと心から知ることができました。その結果、聖書だけが伝えている希望が自分のものとなったのです。

世の人々は聖書が伝える本当の希望を知りません。世の人々の希望は、生きている間だけの希望です。ですから、年をとるにつれだんだん希望がなくなり、不安になっていくのです。多くの人は年をとって70才を過ぎ、80才を過ぎると、もう希望が無いと言います。死がこわいのです。どこへ行くのかわからないからです。

「あなたの若い日に、あなたの創造主を覚えよ。わざわいの日が来ないうちに、また、なんの喜びもない。という年月が近づくまえに。」（伝道者の書 12章 1節）

聖書は、今の時のいろいろな苦しみからの解放を約束しています。ですから私たちクリスチャンはどのような苦しみにあっても耐えることが出来るのです。実際に、その後に素晴らしい恵みがあることを知っているからです。永遠のいのちを与えられたとき、私たちが地上で経験している恵みはごくわずかだったと知るでしょう。

述べています。なぜでしょうか？ それは、ひとたび死んでしまうと、もはや恵みを得るチャンスも救いのチャンスも無くなるからです。

多くの宗教は、死者のために祈ったり、供養したりすることで死者が救われ、新しいいのちが得られるのではないかと推測し、はかない希望をのべています。しかし、説明書である聖書は、恵みの時、救いの日は今しかないと教えているのです。すなわち、私たちが生きている間です。

多くの人は災害や地震の多発している現在が、どうして恵みの時と言えるのか？ というかもしれません。聖書は、最初の人アダムが罪を犯したためにすべてが裁かれ、死や病気や悲しみ苦しみといった刑罰を受けていることを教えています。ですから悲惨な出来事がたくさん起こっています。しかし、そのような状態から人々を救い出し、永遠のいのちを与えるためにキリストが来られたのです。その方法は、自分の罪の身代わりにキリストが裁きを受けてくださったと信じればよいのです。

すべての人は、罪を犯したので、創造主からの栄誉を受けることができないと聖書は語っており、また、創造主の一方的な恵みによって、キリスト・イエスを救い主と信じるだけで義と認められるとも語っています。

今、創造主は今、私たちのために場所を備えておられます。その準備が終った時、携挙（けいきよ）（生きてままたんに挙げられる）が起こると聖書に書かれています。

宇佐神 正海

聖書は、「今は、恵みの時、救いの日」と

「主は、号令と、御使いのかしらの声と、創造主のラッパの響きのうちに、ご自身天から下って来られます。それからキリストにある死者が、まず初めによみがえり、次に、生き残っている私たちが、たちまちに彼らと一緒に雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。」(テサロニケ第一の手紙4章16-17節)

このようにしてイエス・キリストを救い主として受け入れた人々は主の御前に出るのです。これは黙示録にも書かれている出来事です。現代

は福音(イエスキリストの十字架が私たちの罪のあがないのためという良い知らせ)を自由に聞くことの出来る時代です。日本においては、少なくとも福音を自由に聞くことが出来ます。そして、私が創造論を研究して60年になり、今、創造論が進化論とは異なり、はるかに論理的であり、正しいと確信できる資料が揃ってきています。こんな時代は今までありませんでした。

創造主が世界を創造されたのなら、この世界や私たちの説明書を人が与えられているはずだと、素直に受け

入れれば、誰でもこの恵みに預かることが出来るのです。従って、今こそ、恵みの時、救いの日なのです。

私たちの将来の展望、携^{けいきよ}拳の日には、この世とお別れです。その日は、突然来ます。また、終末に起こる事がマタイの福音書24章と黙示録の中に実に詳しく書かれています。

「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかきされ、それから、終わりの日がきます。」(マタイの福音書24章14節)

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにもかぞえきれぬほどの大ぜいの群集が、白い衣を着、しゅろの枝をてに持って、御座と小羊との間に立っていた。」(黙示録7章9節)

「主の名を呼び求めるものは、誰でも救われる」と聖書は約束しています。心から、「私の罪の身代わりに刑罰を受けて下さったことを信じ、感謝します。私の全てを御手にゆだねます」と言う者は、誰一人として救いからもれることはないのです。

「創造主は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは、御子を信じるものがひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3章16節)

人生は、永遠です。決してこの地上で終わるものではありません。人は永遠のいのちと祝福を得るために、今準備しなければなりません。

イエス様を信じ受け入れた者に与えられる恵みと祝福は、本当になんと素晴らしいものでしょうか！今こそ恵みの時、救いの日です。

秋の聖書講演会

「人を生かす世界観」

講演 宇佐神 実
ジェネシス・ジャパン

2011年10月23日(日)

礼拝 10:30~12:00 「人を生かす世界観」
コーヒーアワー
14:00~15:30 「セントヘレンズ山の噴火とノアの洪水」

●当教会は正統的プロテスタントキリスト教会です。
聖書を懐心のが初めての方でもお気軽にお越しください。
●礼拝は任意の献金があります。
●コーヒーアワーは無料です。

「セントヘレンズ山の噴火とノアの洪水」

<主催>
山形第一聖書バプテスト教会
牧師：紺野真和、島居元次

〒990-0034 山形市東原町2-3-26
TEL&FAX:023-634-8853
HP <http://www16.ocn.ne.jp/~ybible63/>
E-Mail ybible63@hyper.ocn.ne.jp

創造論セミナーのご案内

10月23日 山形第一バプテスト教会にて
お近くの方は是非おいで下さい。

※ ※ ※

全国どこでも、何人からでも創造論のセミナーを行います。お申し込みはFAXまたはメールにて。

info@genesijapan.com